

さあ、東北を走ろうか



日本銀行 仙台支店長 横堀 裕二

今回趣味を問われ思わず回答に窮してしまったが、あえて言うとクルマであろうか。振り返ると、子供の頃は絵が好きで、特に印象派に魅せられ油絵で三原色のみから色を重ねていくことに楽しさを感じていた。また、近所に住む元航空機設計技師であった親戚の影響もあり飛行機が好きで、関係書籍を読み漁ったり模型を作ったりしつつ空に想いを馳せていた。もっとも、油絵は完成までに特有の匂いと同居することもあり次第に筆を握る機会はなくなってしまった。また、飛行機は今でも好きではあるが、自動車免許取得以降、実利と趣味を兼ねられるクルマに関心がシフトしていった。クルマは憧れの対象に留まらず、自ら操る楽しさがあるとともに移動手段としてドライブを手軽に楽しめる点が大きな魅力に感じたのである。

クルマの楽しみ方は様々ある。運転をしなくても、自動車雑誌でスペックを確認したりモーターショーに出掛けては新型車にわくわくしていたし、F1をテレビ観戦しては手に汗握りながら異次元の速さで駆け抜けるマシンやピット戦略の駆け引きに魅せられた。運転の楽しさに目覚めると、特段遠出せずに自宅近所を流すだけでも良い気分転換になったし、好きな音楽を聴きながら自分の空間を得られることで気持ちのリセットにもなった。さらに、運転そのものをより楽しむためにMTの国産スポーツカーを購入すると人車一体感に喜びを覚えていた。景勝地や温泉などを巡るドライブは運転の楽しさを倍増させ、旅程を柔軟に調整可能で多少の荷物も飲み込む利便性と相まって、家族旅行などの楽しい思い出をたくさん作ってくれた。

ただ、最近の愛車はATのファミリーカーとなり、子供が部活に精を出すようになるにつれて家族でのドライブの機会も減り、週末の買い出しが愛車の主な活躍の場になってきていた。自動車雑誌の愛読が辛うじてクルマ好きの証であるが、「趣味と言えるだろうか」とモヤモヤしていたのである。

しかし今回仙台に赴任したことは趣味としてのドライブを復活させる絶好の機会になりそうだ。豊かな自然や日本の歴史に触れる史跡などを巡り東北の魅力を堪能したい。さらに宮城県にはブルーインパルスの基地があるため航空機好きの虫も久しぶりに騒ぎ始めている。展示飛行を観に松島基地まで往復する機会も増えそうだ。この調子だとお陰様で帰任する頃には、趣味を問われたら迷わず、クルマ、ドライブ、飛行機と言えそうな予感がする。



ブルーインパルス